

ふれあいだより 第2号 (06・11・10)

発行 山田校区ふれあい協議会

山田校区ふれあい協議会は「ふれあいだより」第1号をお手許にお届けしてから何回かにわたり役員会、健康福祉、生活環境、教育文化、広報の各部会を開き、今年度事業の具体化を検討してまいりました。この結果、当面着手する事業として①「ふれあい囲碁・将棋広場」②ふれあいロード（通学路）の点検、を最終的に決めました。

本号はこの2事業をご紹介します。

ふれあい囲碁・将棋広場

18日(土)スタート,お気軽にご参加を

私たちは小学生と地域の人たちが交流し共に学び共に楽しむ機会をつくることは有意義と考えました。そして囲碁・将棋をテーマに、学校開放される土曜日に実施することにしました。

その名は「ふれあい囲碁・将棋広場」、文字どおり地域の人たちと子供たちがふれあう場を目指しています。

指導していただく人は、もちろん地元の方で、囲碁は黒崎囲碁クラブ会長の鹿島耕平さんと有段者の阿部利男さん、将棋は山田将棋クラブ代表の小野潔さんと有段者の今村弘之さんで、皆さん県のアマチュア囲碁・将棋界で活躍しておられる方々です。

部会の話し合いの中で「子供に教えるだけでなく、一般のおとなの人たちに加わってもらったら、より地域との交流がはかれるのではないか」という意見が出されました。お父さん、お母さんもその他小学生を持たない方たち、年齢を問わず参加する広場にできたらすばらしいと、全員が賛成でした。

実施日は今月18日から毎週土曜日の午前9時30分から11時30分までで、今月は18日と25日、12月は2、9、16日です。山田小玄関にお出でくだされば会場にご案内します。振るってご参加ください。お待ちしております

通学路の点検

26日に「ふれあいロード」

小学生の安全確保には学校当局をはじめ関係諸団体が配慮していますが、ふれあい協議会でも何かお役に立ちたいと考え、とりあえず通学路の安全点検を実施することにしました。対象は通称「ふれあいロード」とし、11月26日に生活環境部会員が協力して行うことになりました。

まずは改善のポイントを整理し、やがて対象を広げていきたいと考えています。

裏面もご覧下さい

地域トピックス

少子化どこ吹く風

少子化の流れは全国的で、その対策は内政の大きな課題になっています。1人の女性が生涯に赤ちゃんを産む割合を推計した合計特殊出生率をみると、2005年で全国1・25、本県はやや高い1・29。新潟市はそのいずれよりも低い1・20で過去最低という県の調査結果が発表されています。

ところが山田小の入学児童はことし40人も増えて、1年生のクラスは3学級から4学級になりました。それにこの傾向はことしだけに終わらず、しばらくは続くと推計されています。若いご夫婦の転入増がもたらした結果でしょうが、地域の活性化現象と言えそうです。

7区わくわく再発見

皆さん、坂井輪とか西地区をどれだけご存知ですか。

来年4月政令指定都市になりますと、黒埼地区は7区になります。人口およそ16万人で市全体の20%弱、世帯は6万3千世帯強で20%を超える大きな区になります。その構成は黒埼に坂井輪、西地区となりますことは既にご承知のことです。

ですが、私たちはそれらの地区の様子をあまり知りません。そこで黒埼支所は他の2地区支所と合同して、区内の公共的施設

文化的施設をバスで巡り、各地区の理解を深め一体感を醸成する企画をたてました。題して「7区わくわく再発見」。10月28日から11月15日まで5コース。

ちなみに視察するポイントの例をご紹介しますと、黒埼支所発のコース 親鸞上人焼酎御旧跡—川越波切御名号堂—緒立八幡宮—黒埼常民文化史料館—新潟大学—佐潟水鳥・湿地センター

再発見ならず新発見の人も多かったのでは？

坂井輪結ぶ区バス

黒埼と坂井輪方面の行き来は極めて不便です。マイカーの人はさることながら、バスがないのがその理由です。政令指定都市とともに坂井輪に区役所ができるわけですから、交通の利便向上はぜひ必要です。そこで市では「区バス」の導入を計画しています。

これまでにルートの検討など具体的な計画を7区自治協議会準備会などと意見交換をしています。今後運行計画を策定して、来年4月スタートする予定です。バス代は百円を想定していますが、どれだけ利用されるかが将来を占うキーポイントのようです。

あとがき 第2号は18日の「ふれあい囲碁・将棋広場」のご参加に間に合うよう発行を早めました。